

中間報告

小中学校の適正規模に関する意識調査 調査結果 報告書

- 1 調査期間：平成28年11月28日～12月20日
- 2 調査方法：郵送及び各学校に配布
- 3 調査対象、サンプル数及び回収率

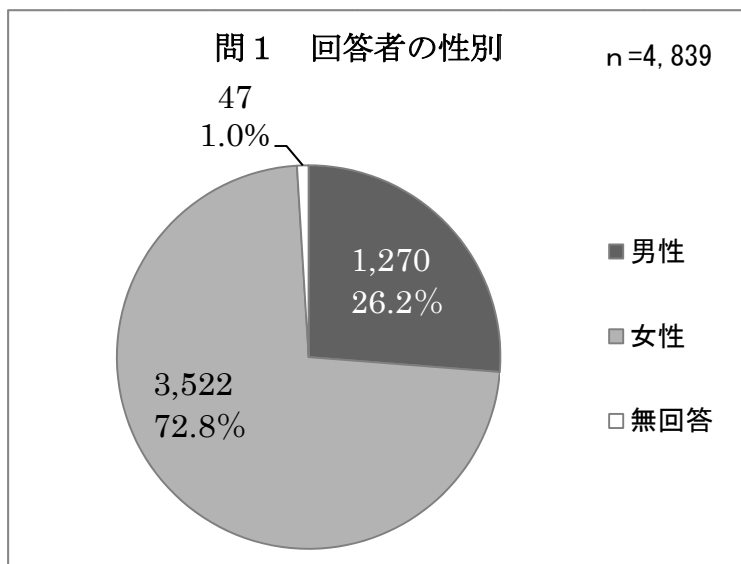
対 象	サンプル数	回収率（回収サンプル）
保 護 者	2, 6 9 4 人	9 1 . 5 % （2, 4 6 4 人）
一般市民	3, 0 0 0 人 【うち1, 0 0 0 人は未就学児保護者】	4 8 . 7 % （1, 4 6 2 人）
教 職 員	1, 1 5 3 人	7 9 . 2 % （ 9 1 3 人）
計	6, 8 4 7 人	7 0 . 7 % （4, 8 3 9 人）

- 4 その他
自由記載の設問（問14、16、18）については、整理中に付き、本報告書から割愛してあります。

■集計結果

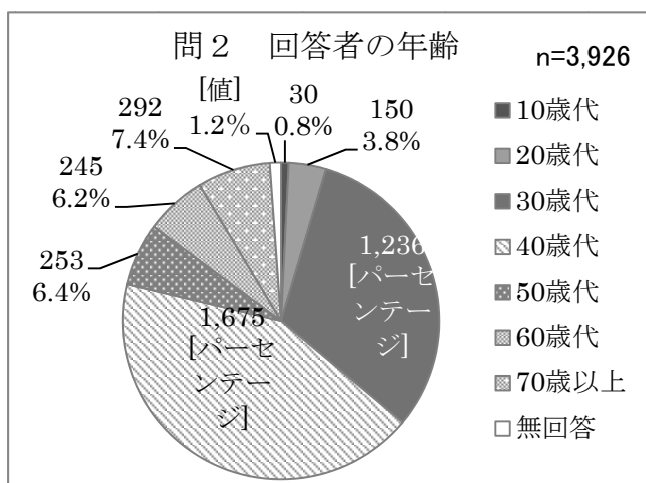
回答者の属性

問1 あなたの性別をお答えください。

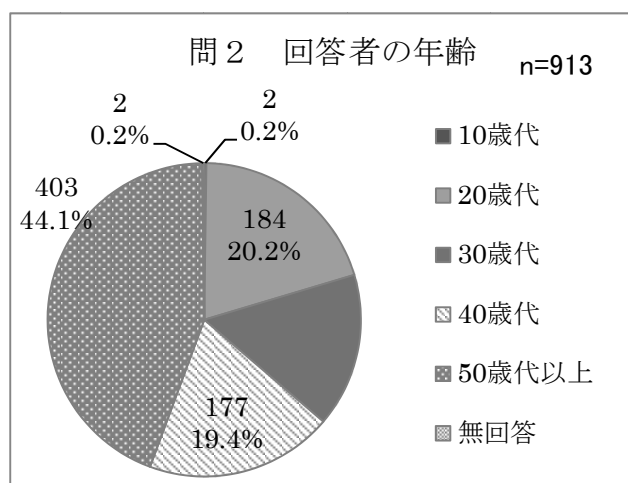


問2 あなたの年齢をお答えください。

保護者、一般市民

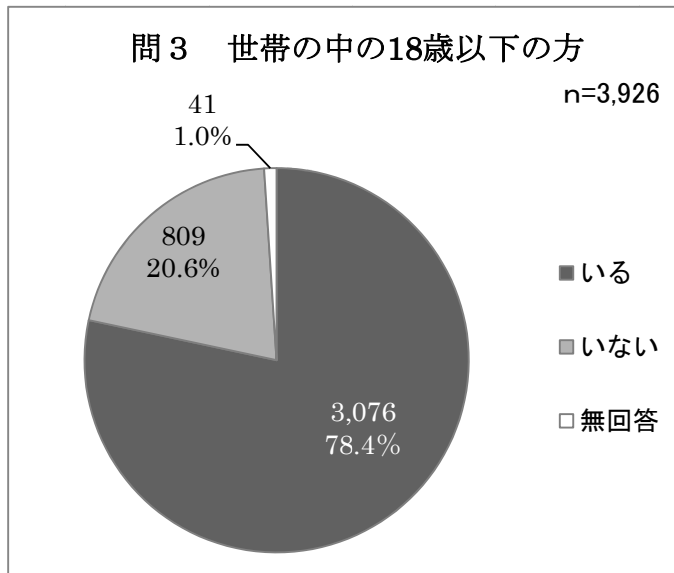


教職員



問3 あなたの世帯には、18歳以下の方はいらっしゃいますか。

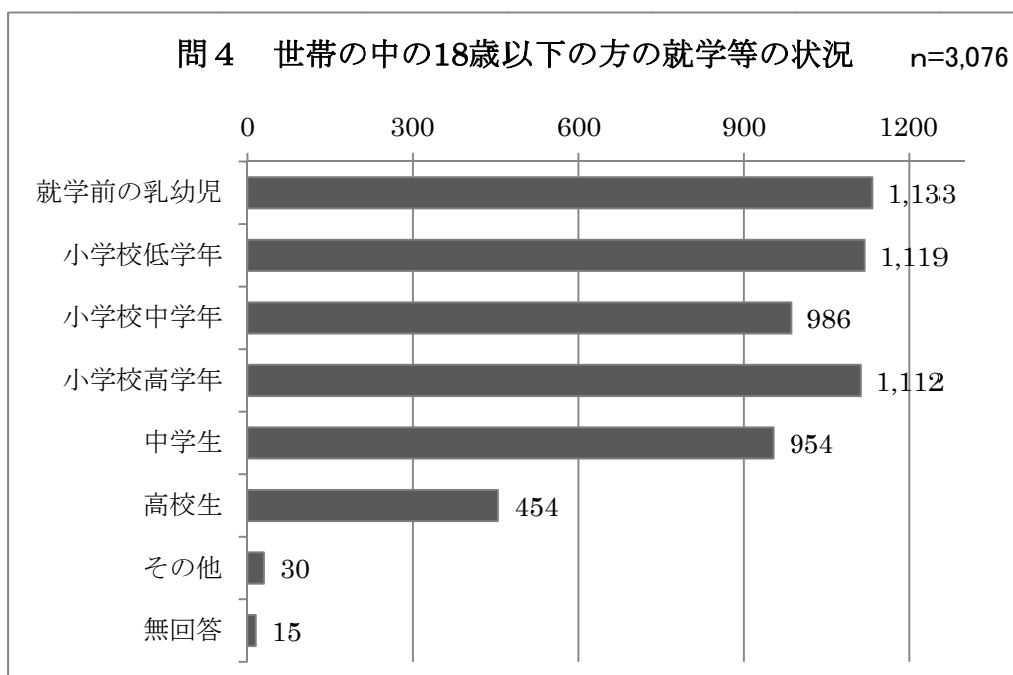
保護者、一般市民



問4 問3で「(1) いる」と答えた方にお伺いします。

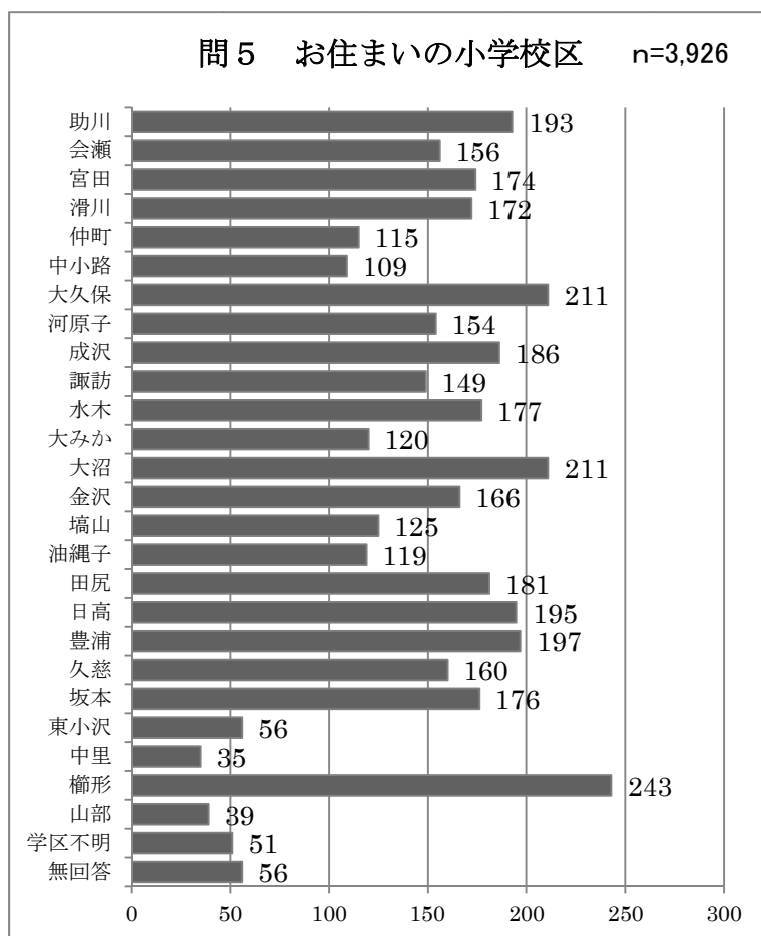
あなたの世帯の18歳以下の方の就学等の状況について、該当するものを全てお答えください。
(複数回答)

保護者、一般市民



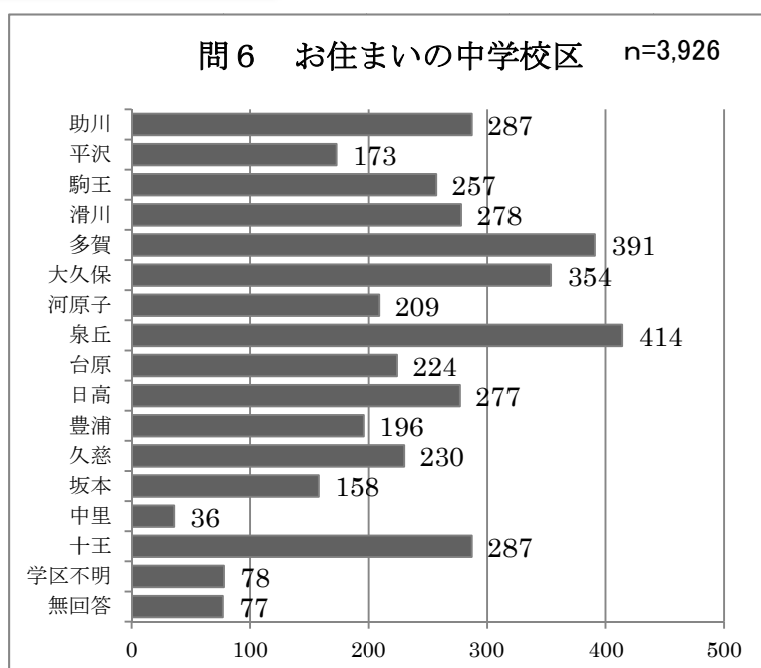
問5 あなたがお住まいの小学校区はどこですか。

保護者、一般市民



問6 あなたがお住まいの中学校区はどこですか。

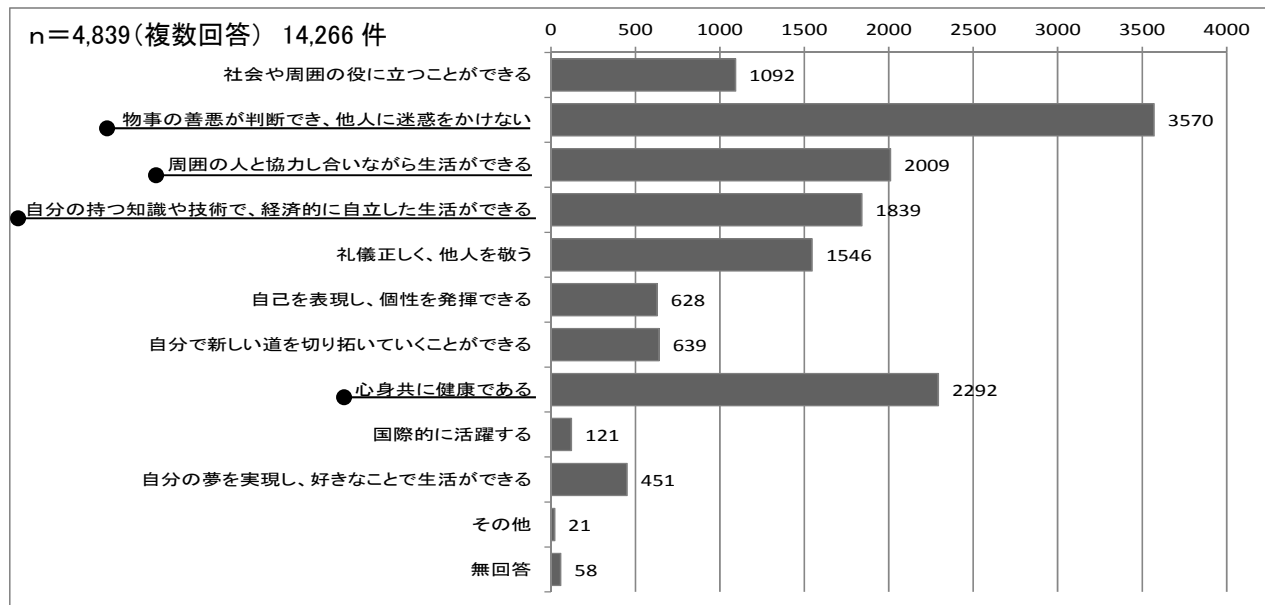
保護者、一般市民



問7 期待する子どもの将来像はどのようなものですか。

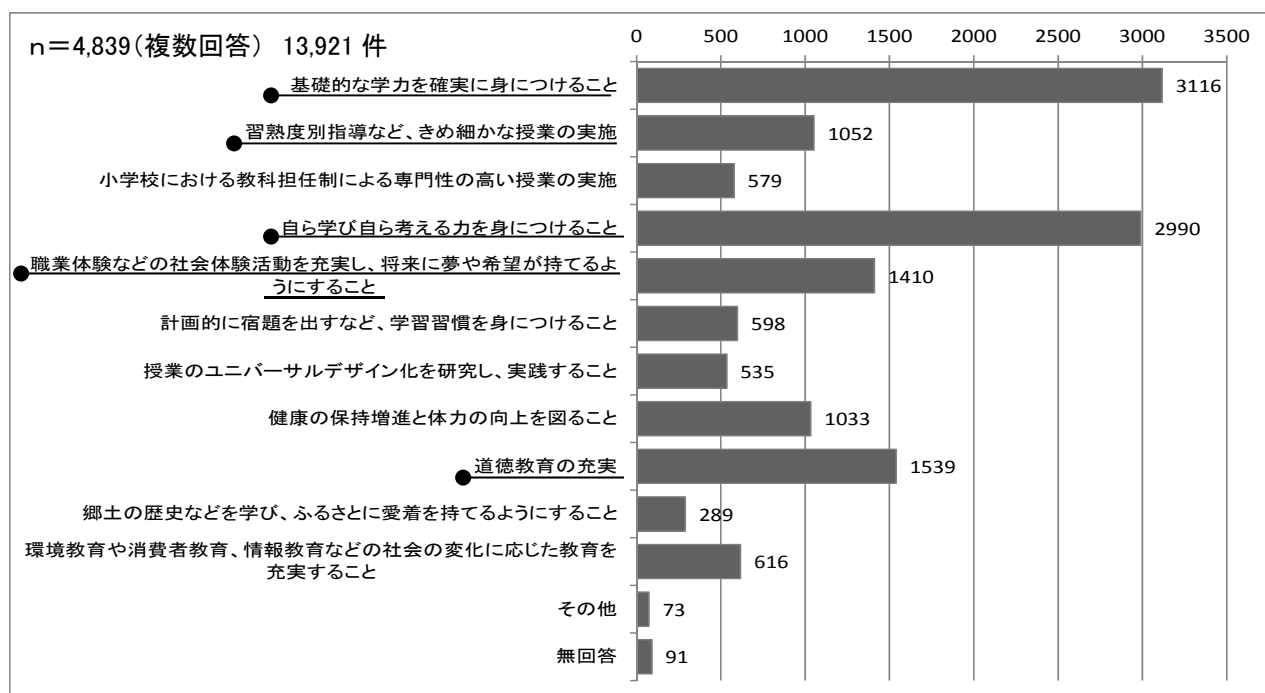
あなたの考えに近いと思われるものを、3つまでお答えください。(複数回答)

○「物事の善悪が判断でき、他人に迷惑をかけない」が最も多く、次いで「心身共に健康である」、「周囲の人と協力し合いながら生活ができる」、「自分の持つ知識や技術で、経済的に自立した生活ができる」の順になっている。



問8 小中学校において、特に力を入れてほしいこと、これから取り組んでほしいことは何ですか。あなたの考えに近いと思われるものを3つまでお答えください。(複数回答)

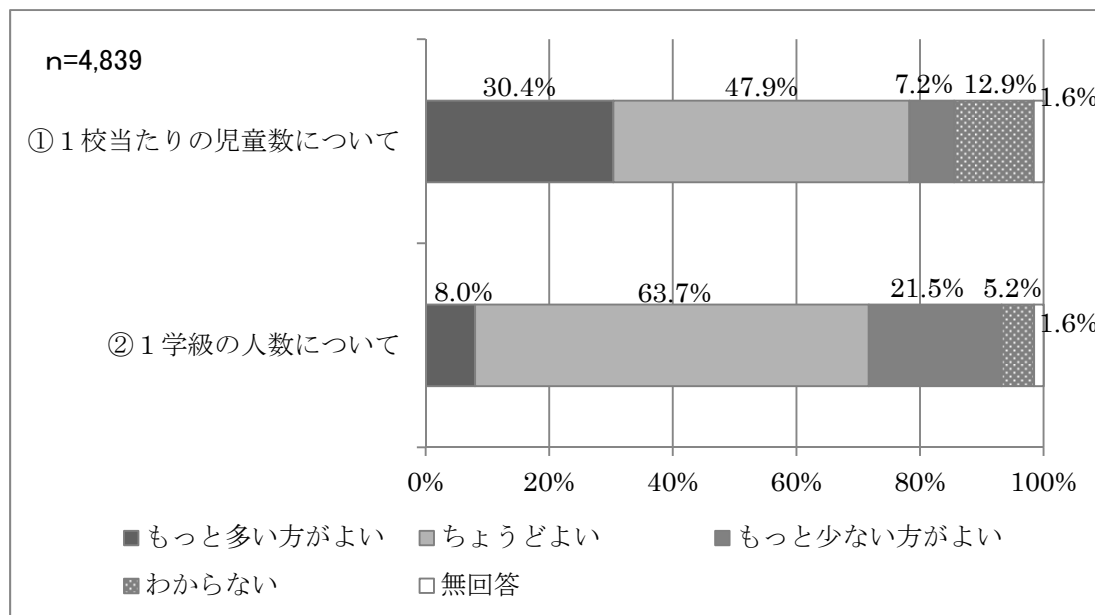
○「基礎的な学力を確実に身につけること」、「自ら学び考える力を身につけること」といった、基本的な学習習慣に関する回答が多く、次いで、「道徳教育の充実」、「職業体験などの社会体験活動を充実し、将来に夢や希望が持てるようにすること」、「習熟度別指導など、きめ細かな授業の実施」など、学習内容に関する回答が多くなっている。



問 9 日立市の小学校の① 1校当たりの児童数(※1)や、② 1学級の人数(※2)について、どのように感じていますか。

※1 日立市の平均 353 人 (学年当たり 59 人) ※2 日立市の平均 29 人

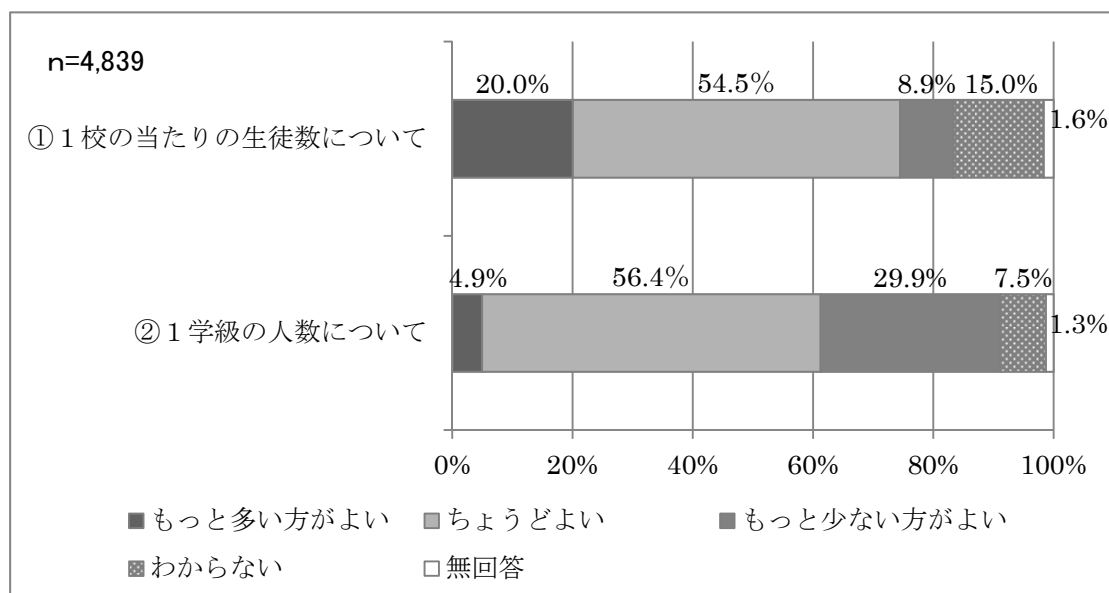
○小学校については、① 1校当たりの児童数、② 1学級の人数とも「ちょうどよい」が最も多いが、① 1校当たりの児童数については「もっと多い方がよい」という回答が約3割で比較的多く、1学級の児童数は少なくとも、学校全体での児童数は多い方がよいという傾向を示している。



問 10 日立市の中学校の① 1校当たりの生徒数(※3)や、② 1学級の人数(※4)について、どのように感じていますか。

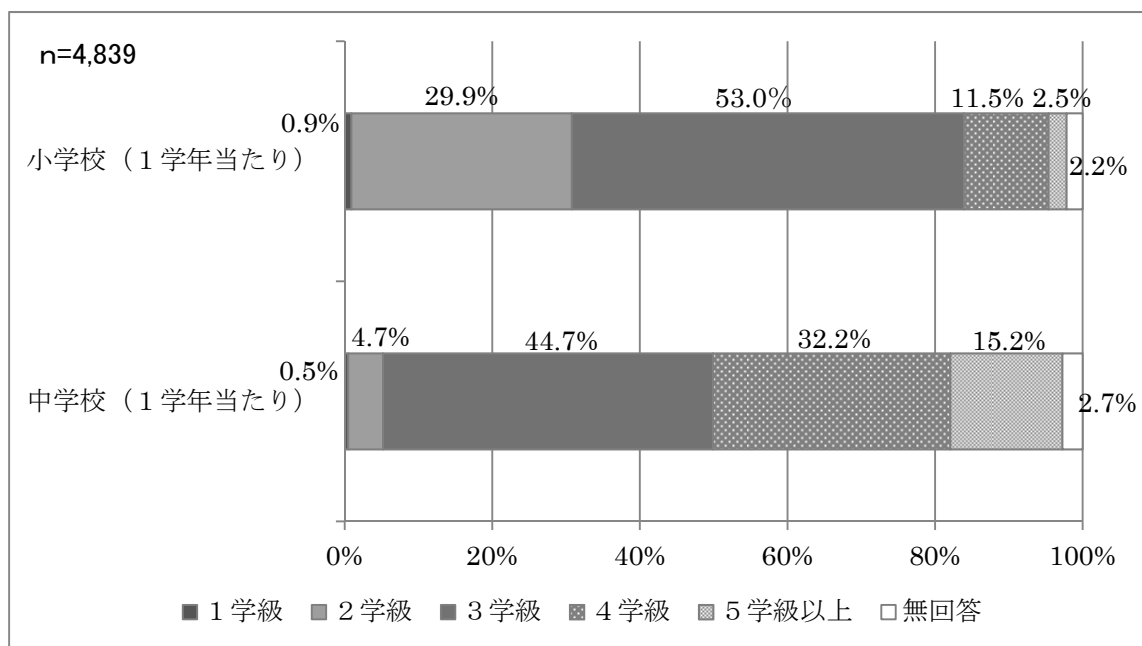
※3 日立市の平均 327 人 (学年当たり 109 人) ※4 日立市の平均 33 人

○中学校についても、① 1校当たりの生徒数、② 1学級の人数とも、小学校と同様に「ちょうどよい」が最も多い。一方、② 1学級の人数については、「もっと少ない方がよい」という回答が約3割で小学校よりも高くなっている。



問 1 1 1 学年当たりの学級数は、どの程度がよいと考えますか。

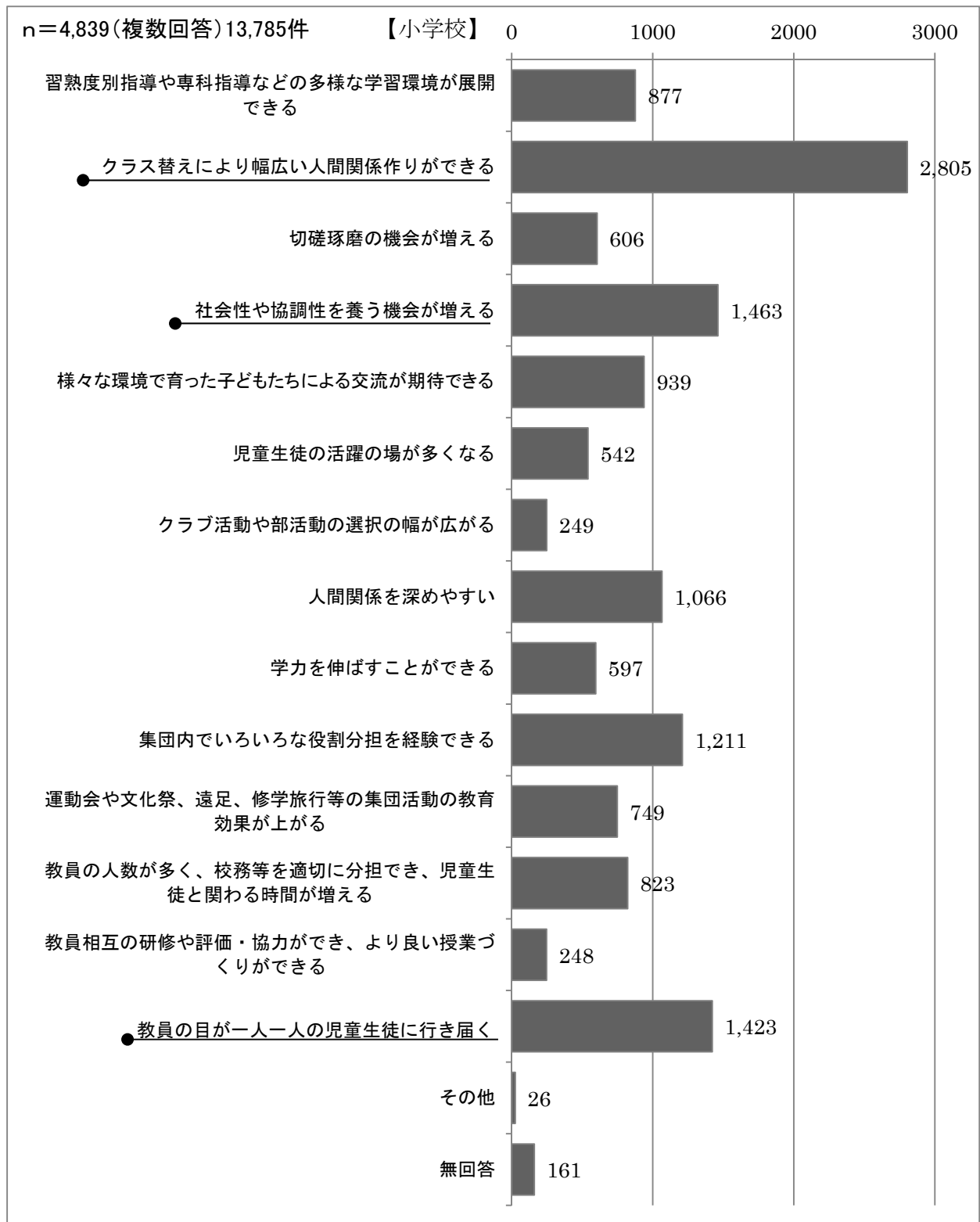
○1 学年当たりの学級数については、小学校、中学校それぞれ「3学級」が最も多くなっている。
2 番目に多い回答は、小学校では「2学級」、中学校では「4学級」で、違いが見られる。



問 1 2 問 1 1 のように考える理由について、あなたの考えに近いと思われるものを、小学校、中学校それぞれ 3 つまでお答えください。(複数回答)

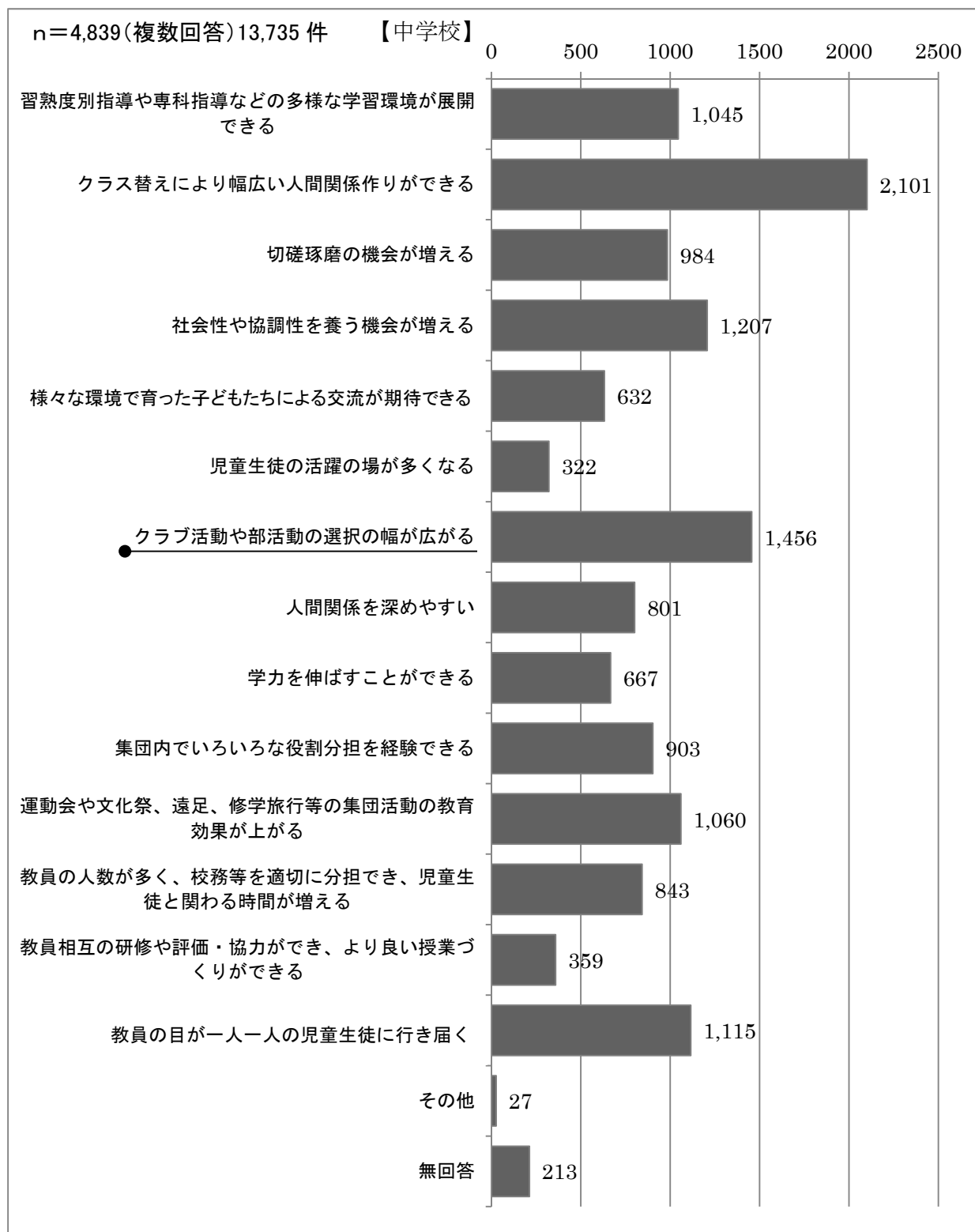
【小学校】

○小学校の 1 学年当たりの学級数を選択した理由については、「クラス替えにより幅広い人間関係作りができる」が最も多く、次いで、「社会性や協調性を養う機会が増える」、「教員の目が一人一人の児童生徒に行き届く」となっている。



【中学校】

○中学校の1学年当たりの学級数を選択した理由については、小学校と同様の回答に加え、「クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる」という回答も多くなる。

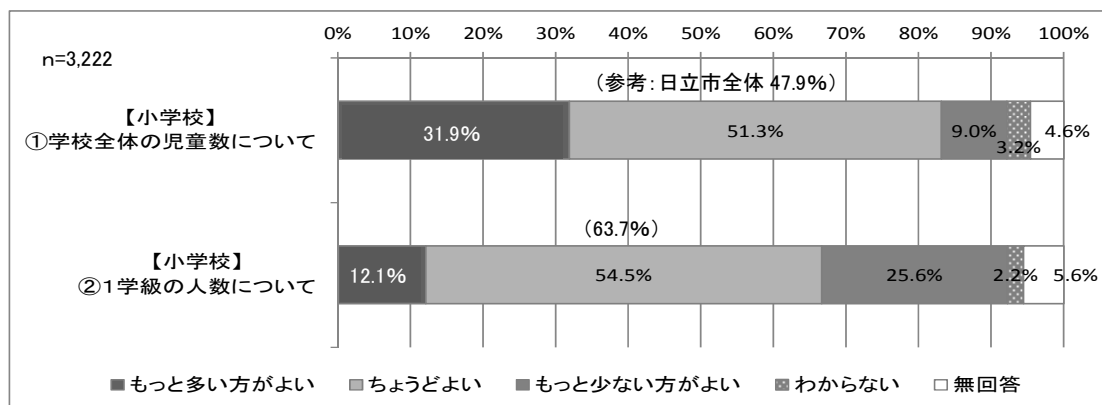


問 13 あなたの世帯のお子さんが通学している学校（又はあなたの勤務する学校）の児童生徒数や1学級の人数については、どのように感じていますか。小学校、中学校について、それぞれ1つ選んでお答えください。

①「子が通学している学校（又は勤務している学校）」の児童数及び1学級の人数【小学校】

○小学校では、①学校全体の児童数について、「ちょうどよい」が最も多く、日立市全体（問9の①）と比較しても多い傾向にある。

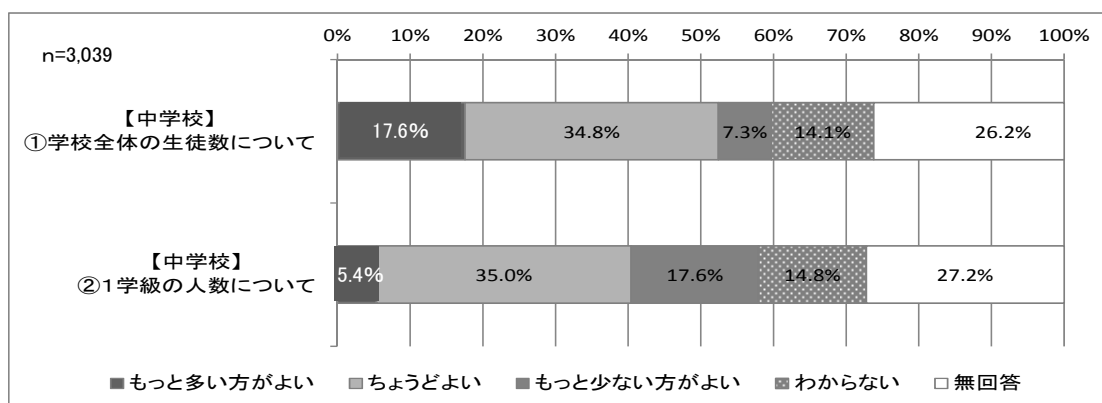
○1学級の人数については、「ちょうどよい」が最も多いが、日立市全体（問9の②）と比較するとやや少ない。



②「子が通学している学校（又は勤務している学校）の生徒数及び1学級の人数【中学校】

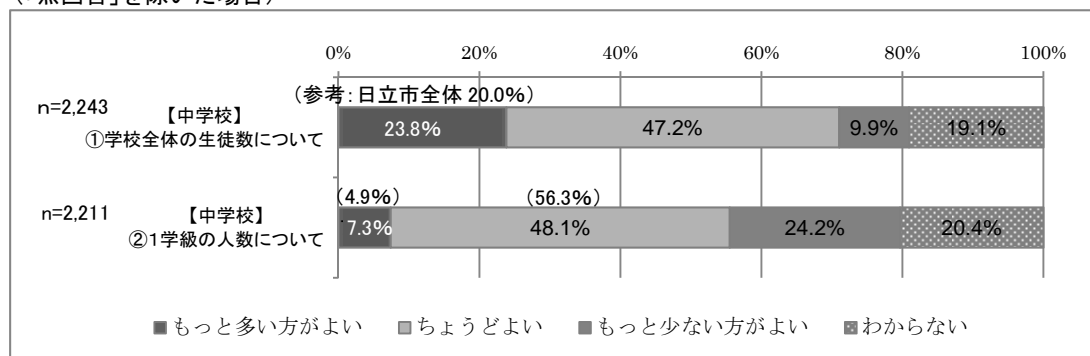
○中学校では、学校全体の生徒数について、「ちょうどよい」が最も多いが、日立市全体（問10の①）と比較すると、「もっと多い方がよい」がやや多い傾向にある（「無回答」を除いた場合）。

○1学級の人数については、「ちょうどよい」が最も多いが、日立市全体（問10の②）と比較すると、「ちょうどよい」は少なく、「もっと多い方がよい」がやや多い傾向にある（「無回答」を除いた場合）。



V

(「無回答」を除いた場合)

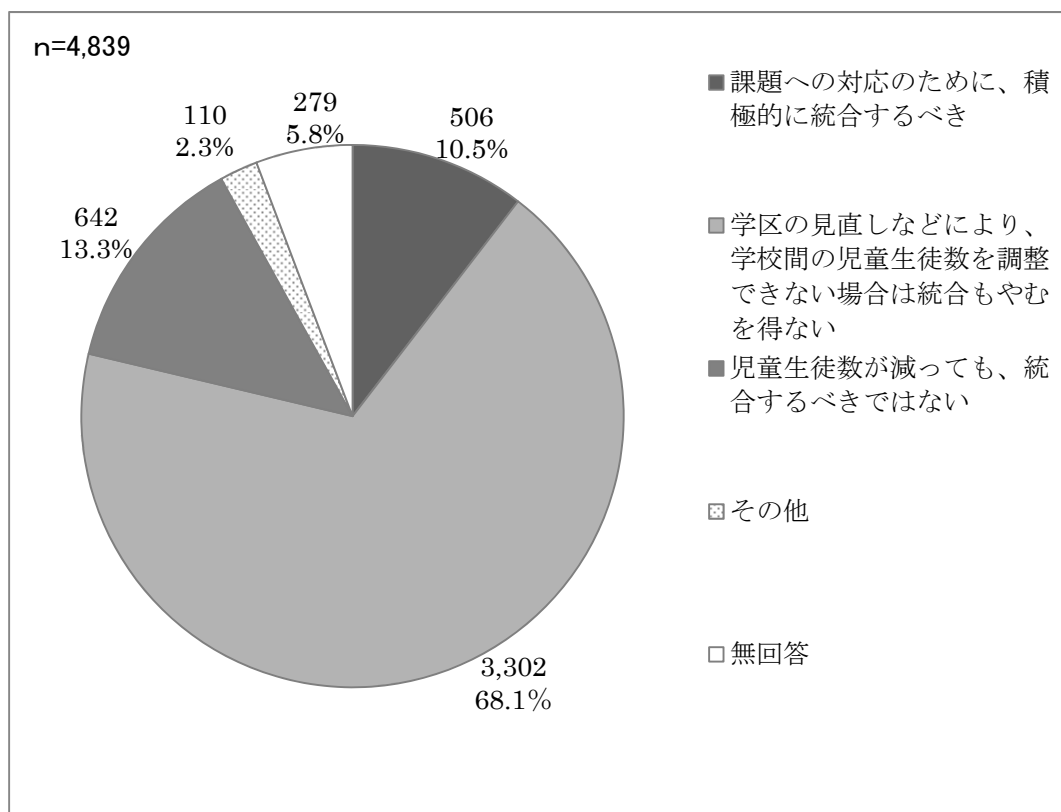


問 1 5 小中学校の小規模化への対応として、子どもたちの学習環境を整えるため学校の統合を進めている自治体があります。このような対応についてどのように考えますか。

① 学校の児童生徒数

○小中学校の小規模化への対応としての学校の統合については、「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数を調整できない場合は統合もやむを得ない」という回答が多く、約 7 割となっている。

○また、割合的には少数ではあるが、「課題への対応のために、積極的に統合すべき」という回答、逆に「児童生徒数が減っても、統合するべきではない」という回答が、それぞれ 1 割前後あることも確認できる。

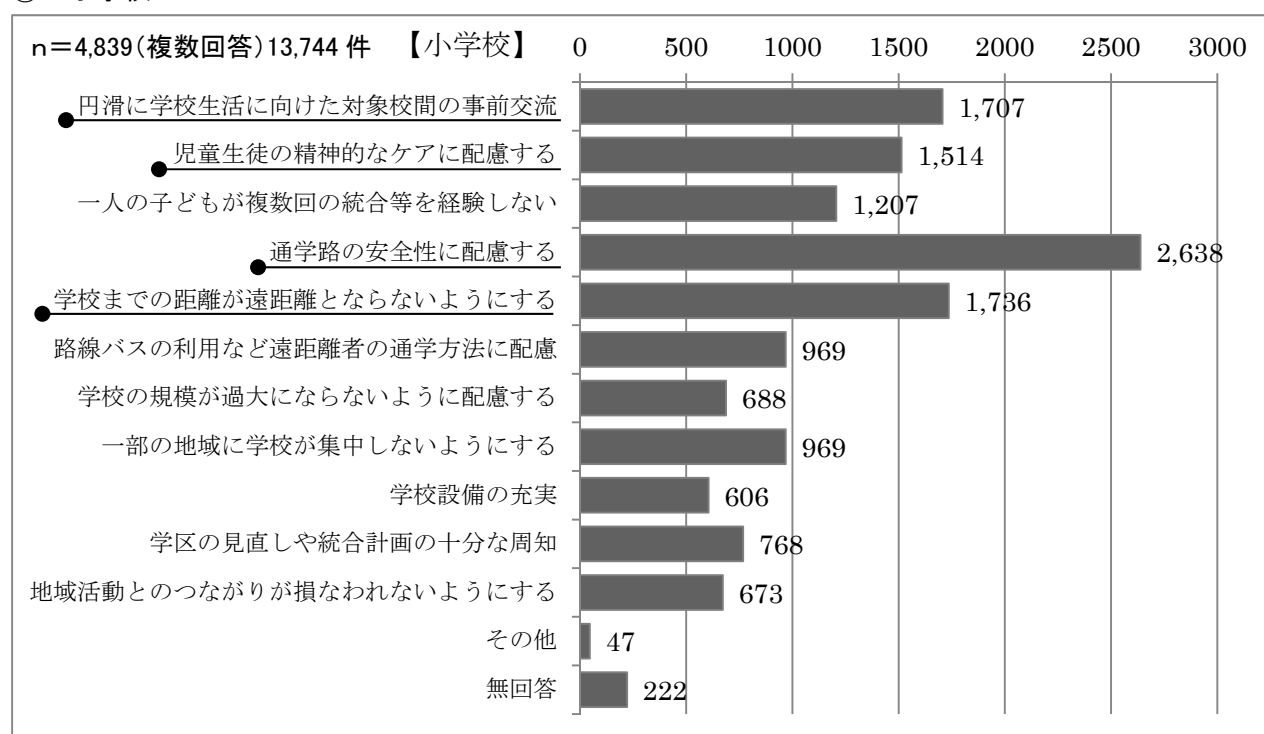


問 17 今後、学区の見直しや学校の統合を検討する場合、優先して配慮すべきことについてどのように考えますか。(複数回答)

○小学校では、「通学路の安全性に配慮する」が突出して多く、次いで、「学校までの距離が遠距離とならないようにする」、「円滑な学校生活に向けた対象校間の事前交流」、「児童生徒の精神的なケアに配慮する」などが多くなっている。

○中学校では、小学校と同じ回答に加え、「路線バスの利用など遠距離者の通学方法に配慮」という回答も多くなる。

① 小学校



② 中学校

